

育 Me 科 学習指導案「自分の感情を理解する」

○ねらい

自分の感情を表す適切な言葉(感情語)と一度に複数の感情をもっていることを理解し、自分の感情を適切に表現できる準備をする。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習内容「質問する」をペアで確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面を提示し、どのような感情になるか考えさせ、複数の感情を一度に持つときがあることを理解させる。※資料1 <p>3 本時の課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の感情を適切に表現しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で話させる。 ・本時の活動にグループワークがないことを事前に伝える。 ・なぜそのような感情になるのか原因を明確にして発言させる。 	<p>・「わかりやすい伝え方」(R5)「非言語的コミュニケーション」(R5)を用いて、相手に理解してもらえよう丁寧に話させる。</p>
展開	<p>4 活動1(感情語の理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の場面を提示し、そのときどきの感情をワークシートに記入させる。(個人で活動する) ・記入させたワークシートをもとに全体で共有を図りながら、適切な感情語を選択させる。 <p>(例)人前で褒められたとき…「恥ずかしい」→「照れる」</p> <p>5 活動2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の一時を取り上げ、例として場面提示する。その場面で持っている感情をワークシートに記入させる。 ・記入させたワークシートをもとに全体で共有を図りながら、人によって感情表現や一度にもつ感情の数に違いがあることなどに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入して、グループで交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の感情を同時に抱えることで、小さな感情に気づくことができず、よくわからない不安にかられるときがあることを理解させたい。
まとめ	<p>6 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容から、普段の生活で適切に自分の感情を把握できているか振り返らせる。 ・教師の話 <p>①よく一つの言葉で多くの感情を表現してしまうこと</p> <p>②正体のわからない感情を抱いてしまい不安になること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【出口での生徒の意識】</p> <p>普段の生活では、いつも同じ言葉で感情を表現している。もう少し詳しく表現できると自分の気持ちを理解でき、落ち着くことができるかもしれない。</p> </div>		